

ぼう ちょう しゃ 傍聴者の声

傍聴者数のべ34人



熊本県立大学2年
年
河喜多俊介
(大津町在住)

政治に関心が薄くとも自分の住んでいる地域のことは知っておくべき

今回大津町議会一般質問を傍聴しました。熊本地震から1年以上が経ち、着実に復興はしていると思います。これも大津町の復興への動きが活発であったからだと感じます。

議会では復興事業についても取り上げられていました。議員の方々にはこれらの問題を真摯に考え追求していく熱意がありました。

私自身、今回が初めての議会傍聴だったのですが、地元である大津町が現在どのような問題を抱え、様々な政策や改善等に取り組んでいるかを初めて知りました。

また、議会傍聴に来られている人が少ないこと、若年層の傍聴者がいなかったことが印象に残りました。

このことから若者の政治への関心の薄さや議会傍聴への興味の薄さも問題であることが分かりました。私は平日に実施しているため傍聴したくてもできない人達がいると思います。だから休日の議会傍聴を増やしていくことが重要だと感じました。

また私たちは政治にあまり関心が無くとも自分の住んでいる地域のことくらいは知っておくべきだと今回の議会傍聴を通して思いました。



熊本大学3年
年
長野 大作
(大津町在住)

「政治」つまり「生活」をつくっていくのは私たちであることを肌で感じた

私は大学一年生の頃から大津町の議会を傍聴しています。きっかけは、「NPO法人ドットジェイピー」が運営する「議員インターンシップ」でした。

傍聴する前は、難しそうと思っており、忌避しておりました。しかし、実際に傍聴してみると、議員の方と大津町の職員の方のやり取りについて引き込まれてしまいました。

普段の大津町での生活で私たちが何気なく見ているもの、感じていること等、「私たちの生活」そのものに関して議会では話して決議しており、決して「他人事」ではなかったからです。

また、議会傍聴を通じて、私は大津町民ながら、大津町の知らなかった問題点も見つけることができました。

この議会を通して、「政治と生活がいかにつながっているのか」ということを知ることができました。また、日本は民主主義で、「政治」を、つまりは「生活」をつくっていくのは私たちであることを肌で感じることもできました。

大津町を、自分の生活をよりよくするために、議会傍聴して、自分の意見を持ち、投票するようにしていきたいと思います。

教育委員会委員が決定しました

教育委員会とは地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関です。

毎月行われる教育委員会会議での議題審議および町内小中学校、町立幼稚園を訪問し、指導、助言を行います。



齋藤陽子さん(大津町室)

傍聴に来てはいよ

議会はどなたでも自由に傍聴できますので、ぜひお気軽にお越しください！

●日程●

12月6日(水)～13日(水) 予定

●会場●

オークスプラザ 2階 ふれあいホール